

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成30年6月15日)

[件名]

- 1 鳥取県中部地震に係る生活復興支援の取組状況について
(危機管理政策課) … 1
- 2 島根原子力発電所3号機に関する対応について
(原子力安全対策課) … 3
- 3 島根原子力発電所低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる
添加水流量計の校正記録の不適切な取扱い事案について
(原子力安全対策課) … 6
- 4 島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の状況等について
(第42報)
(原子力安全対策課) … 7
- 5 第64回鳥取県消防ポンプ操法大会の開催について
(消防防災課) … 11

危機管理局

鳥取県中部地震に係る生活復興支援の取組状況について

平成30年6月15日
中部地震復興本部事務局
危機管理政策課

鳥取県中部地震による住宅問題等の課題が解決されていない世帯を対象に実施している生活復興支援の取組状況について、以下のとおり報告します。

1 生活復興支援の取組状況 (5/29 現在)

- ・中部1市4町の実態調査実施率63.8% (生活復興支援対象世帯数974世帯中、実施済み621世帯)。
(※前回報告時(4/27)：実態調査実施率29.2% (生活復興支援対象世帯数974世帯中、実施済み284世帯))
- ・三朝町、湯梨浜町及び琴浦町については、実態調査がほぼ完了。
- ・各市町とも、順次、個別事情に応じた専門家派遣等の生活復興支援を実施中。

市町名 (対象世帯数)	取組状況
倉吉市 (749世帯)	<p>▶実態調査完了世帯数：449世帯 (実施率59.9%)</p> <p>【調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被災者住宅再建支援金・修繕支援金申請済み：187世帯 ●被災者住宅再建支援金・修繕支援金今後申請予定：147世帯 ●被災者住宅再建支援金・修繕支援金申請意向無し：115世帯 <p>【持家 (再建支援金16、修繕支援金39)、賃貸 (再建支援金60)】</p> <p>⇒修繕支援金は被害少のため申請しない。賃貸は主に経営上の判断のためと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●空き家等：0件 <p>▶今後、実態調査実施世帯数：300世帯</p>
三朝町 (57世帯)	<p>▶実態調査完了世帯数：48世帯 (実施率84.2%)</p> <p>【調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被災者住宅再建支援金・修繕支援金申請済み：36世帯 ●被災者住宅再建支援金・修繕支援金今後申請予定：0世帯 ●被災者住宅再建支援金・修繕支援金申請意向無し：5世帯 <p>【持家 (修繕支援金5)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●空き家等 (生活復興支援の対象外)：7件 <p>▶今後、実態調査世帯数：9世帯</p>
湯梨浜町 (45世帯)	<p>▶実態調査完了世帯数：44世帯 (実施率97.8%)</p> <p>【調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被災者住宅再建支援金・修繕支援金申請済み：23世帯 ●被災者住宅再建支援金・修繕支援金今後申請予定：9世帯 ●被災者住宅再建支援金・修繕支援金申請意向無し：0世帯 <ul style="list-style-type: none"> ●空き家等 (生活復興支援の対象外)：12件 <p>▶今後、実態調査世帯数：1世帯</p>
琴浦町 (6世帯)	<p>実態調査は全て完了し、対象となる全世帯が業者待ちの状態</p>
北栄町 (117世帯)	<p>▶実態調査完了世帯数：74世帯 (実施率63.2%)</p> <p>【調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被災者住宅再建支援金・修繕支援金申請済み：38世帯 ●被災者住宅再建支援金・修繕支援金今後申請予定：27世帯 ●被災者住宅再建支援金・修繕支援金申請意向無し：9世帯 <p>【持家 (再建支援金8、修繕支援金1)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●空き家等：0件 <p>▶今後、実態調査世帯数：43世帯</p>

✓専門家派遣等による生活復興支援実績：8件 (現在、支援中を含む。) ※4月以降の件数
(内訳：倉吉市5件、三朝町1件、湯梨浜町2件)

2 市町の状況

(1) 倉吉市

- ・被災者住宅再建支援金未申請世帯175世帯中、172世帯については実態調査が完了（実施率98.3%）。
- ・被災者住宅修繕支援金未申請世帯574世帯中、277世帯については実態調査が完了（実施率48.3%）。
- ・実態調査未実施は、ほぼ賃貸住宅（実態調査未実施300件に対して賃貸住宅292件※約97%）であり、6月末までに実態調査を進めていく。

(2) 三朝町

- ・町、県及び震災復興活動支援センター職員がチームを組み実態調査を実施し、実態調査時に不在であった9世帯を除き、実態調査が完了。

実態調査概要

調査実施日：5/18（金）、5/21（月）、5/22（火）

調査結果：延べ4チームで56世帯を訪問

- ・実態調査の結果、生活復興支援が必要な世帯については、順次、生活復興支援を実施中。
- ・実態調査時に不在であった9世帯についても、改めてチームにより実態調査を行う。

(3) 湯梨浜町

- ・町単独で実態調査を実施し、連絡が取れない1世帯を除き、実態調査が完了。
- ・実態調査の結果、生活復興支援が必要な世帯については、順次、生活復興支援を実施中。
- ・連絡が取れていない1世帯についても、改めて町単独で実態調査を行う。

(4) 北栄町

- ・町単独で実態調査を実施し、実態調査時に不在であった52世帯については、アンケートを投函（5/29現在で43世帯が未回答）。
- ・アンケートの回答が来ない場合には、改めて未回答世帯に対して町単独で6月末までに実態調査を行う。

3 今後の取組

以下の取組を精力的に行い、6月末までの実態調査完了及び10月末までの被災者住宅再建支援金・修繕支援金の申請完了を目指すとともに、引き続き、県、関係市町及び震災復興活動支援センター等の関係者によるケース会議（事案毎の検討会）を開催し、生活復興支援に繋げていく。

- ・実態調査の早期完了（353世帯）
- ・各種支援金早期申請の働きかけ

島根原子力発電所3号機に関する対応について

平成30年6月15日
原子力安全対策課

中国電力(株)から島根原子力発電所3号機に係る新規規制基準適合性審査申請の事前報告があったことを受けて、知事、米子市長及び境港市長で今後の対応を協議した上で、3首長をはじめとした原子力安全対策プロジェクトチーム会議や、実務担当者で構成される共同検証チームによる申請内容の聞き取り等を行いました。

1 中国電力(株)からの島根原子力発電所3号機に係る新規規制基準適合性審査申請の事前報告

(1) 日時 5月22日(火)午前9時40分～午前10時10分

(2) 場所 第4応接室(県庁本庁舎3階)

(3) 出席者 中国電力(株) 迫谷代表取締役副社長 他2名
知事、統轄監、危機管理局長、原子力安全対策監

(4) 主な発言要旨

ア 中国電力迫谷副社長

- 電力の安定供給や二酸化炭素の低減、料金の安定化を図っていくためには、バランスのとれた電源構成の実現が必要。そのためには、安全性の確保を大前提とした3号機の稼働が不可欠。3号機については、引き続き安全対策をしっかりと進め、申請の内容についても、しっかりと皆さんの要望を伺いながら対応していきたい。
- 3号機ではご迷惑をおかけして大変申し訳なく思っている。真摯に受け止め、誠実にしっかりと説明を尽くしていきたい。
- 概要説明についてはある程度ご理解をいただいているが、まだそれが十分でないなら、引き続きしっかりと対応していく。

イ 平井知事

- 今後のことは白紙の状態。米子、境港両市長と今後の進め方について意見の擦り合わせを行う。申請の内容を咀嚼していくには、大分時間がかかるように思う。
- 地元はかなり混乱しており、「周辺を軽んじている」との声も出ている。申請について非常に厳しい空気があることは受け止めておいていただかねばならない。
- 私たちは結論を急いでいない。周辺を置いてけぼりにするような進め方は改めるべき。
- 信頼関係の構築が前提。説明責任をしっかりと果たしてほしい。

2 原子力安全対策プロジェクトチーム会議(コアメンバー)の開催

事前報告(実質的な事前了解願)を受けて、知事、米子市長及び境港市長が今後の対応について協議を行った。

(1) 日時 5月28日(月)午前9時～午前9時30分

(2) 場所 西部総合事務所 講堂

(3) 出席者 平井知事、伊木米子市長、中村境港市長

(4) 議題

ア 事前報告を受けた今後の対応方針

- 中国電力の事前報告は性急の感はあるが、安全協定に基づき誠実に説明は聞くこととする。中国電力と誠実に協議をしながら安全性を厳しく議論していく。
- まずは6月にPT会議に対して皮切りの説明をしていただき、その後、共同検証チーム、顧問会議など各方面への説明に入る。
- 米子市では6月24日の市議会議員選挙があるため、市議会への説明は改選後とする。住民説明会は米子市の状況に配慮し6月下旬以降の米子市、境港市それぞれでの開催を中国電力に申し入れる。

イ 共同検証チームの取扱い

- 共同検証チームは存続させて、引き続き申請内容の検証を行う。

ウ その他

(境港市長)

- 安全協定の立地自治体と同内容への見直しについて、国も含めて、今後も継続して強

く要望したい。

(米子市長)

- ・UPZ圏内の自治体としての責務を果たすことを担保する必要性は国や中国電力にあることから、安全協定の見直しについては、国や中国電力の方から言っていただくべきではないか。

(知事)

- ・立地自治体と同内容の協定が必要という思いは共通しているので、3号機の申請内容の検証と並行させながら、様々な手法で粘り強く継続的に対応していく必要がある。

3 原子力安全対策プロジェクトチーム会議の開催

5月28日のPT会議による3首長の協議結果を受けて、まず3首長が3号機の新規制基準適合性審査申請の内容について中国電力から説明を受け、質疑応答を行った。

(1) 日 時 6月8日(金)午後2時45分～午後3時45分

(2) 場 所 災害対策本部室(第二庁舎3階)

(3) 出席者

- ① 鳥取県 平井知事、副知事、統轄監、関係部局長・次長、中・西部総合事務所長等
- ② 関係市 米子市長、境港市長(西部総合事務所からTV会議で参加)
- ③ 中国電力 岩崎島根原子力本部長、天野鳥取支社長、渡部島根原子力本部広報部長

(4) 概 要

《主な質疑応答等の要旨》

(米子市長)

- ・3号機は改良型で安全対策が進んでいるようだが、一方で出力が大きくリスクが高まっていると思うが、安全性はどうか。
→ 設計基準や重大事故等の防止対策は出力に応じて設計・施工しているので、出力が大きくなった分もしっかり担保している。
- ・市民の理解を進めていくことが重要であり、これからも様々な機会を通して申請内容の説明を伺っていききたい。

(境港市長)

- ・2号機と3号機が同時に重大事態になった場合ほどのように対応するのか。
→ 2号機と3号機の同時の重大事故発生についても、申請書の中で審査を受けることになる。
- ・今後、中国電力には、共同検証チームへのしっかりとした説明、市議会、安対協、市民に対して、わかりやすく懇切丁寧に説明をしていただきたい。

(知事)

- ・個々の安全対策を淡々と説明するのではなく、例えば想定外の津波が来た場合に、多重の安全対策でどのように切り分けられるかなど、一般の方が理解しやすいストーリーとして説明すべき。
- ・今日の説明で全て理解できたというわけではなく、住民へのしっかりとした説明責任を果たすよう中国電力に申入れをさせていただく。
- ・共同検証チームによる検証作業や原子力安全顧問への説明について、中国電力には誠実にご対応いただきたい。
- ・今後の対応において、立地と同等の取扱いを行うよう申入れをさせていただく。

4 島根原子力発電所3号機に係る共同検証チーム会議の開催

島根原子力発電所3号機に係る新規制基準適合性審査申請の内容について、鳥取県、米子市及び境港市の実務担当者で構成する共同検証チームによる検証を行った。

【構成メンバー】

チーム長：鳥取県原子力安全対策監

構 成 員：鳥取県、米子市及び境港市の原子力安全担当部局実務担当者

【第6回チーム会議】

(1) 日 時 6月13日(水)午後3時～午後4時

- (2) 場 所 災害対策本部室（第二庁舎3階）
- (3) 議 題 島根原子力発電所3号機に係る新規制基準適合性審査申請の内容について
- (4) 内 容 中国電力から島根原子力発電所3号機に係る新規制基準適合性審査申請の内容、特に設計基準対応（耐震・耐津波機能、自然災害、火災、内部溢水、電源の信頼性）について説明を受け、質疑応答を行った。

島根原子力発電所低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる添加水 流量計の校正記録の不適切な取扱い事案について

平成30年6月15日
原子力安全対策課

本事案は、平成27年8月5日の原子力規制委員会で「保安規定違反（監視）」と判定され、これまで原子力規制委員会は、保安検査で中国電力の改善措置の状況を監視してきました。

5月16日に開催された原子力規制委員会において、監視の終了が了承されたことから、安全協定に基づく現地確認（第8回）を米子市及び境港市と合同で実施し、再発防止対策が適切に実施されていることを確認しました。

1. 原子力規制委員会の平成29年度第4回（第4四半期）保安検査結果の概要

- (1) 検査項目 違反事項（監視）に係る改善措置の実施状況
- (2) 検査結果（報告書抜粋） 当該保安規定違反「監視」に係る全ての改善措置を完了させており、日常業務の中で継続的にPDCAが廻る状態であることを確認できたことから、今回の保安検査をもって終了する。

2. 第8回現地確認の結果概要

- (1) 日時、場所 6月11日（月）13:00～16:30、島根原子力発電所
- (2) 確認者 [鳥取県] 原子力安全対策課長以下3名
[米子市] 防災安全課職員1名、[境港市] 自治防災課職員1名
- (3) 確認内容

再発防止対策	主な確認内容
EAM※点検計画表の管理対象としていなかった機器の点検計画管理方法の改善	・EAM以外の管理方法である放射線測定機器管理システムについて、実際の画面や記録により、状況が一覧で確認できることが点検漏れの対策となっていること及び点検実績の原本を複数（担当者、課長等）で確認することが改ざんへの歯止めとなっていることを確認し、適切に管理されていることを確認した。
固型化設備稼働前の確認プロセスの改善	・手順書に基づき、稼働前の確認プロセスが適切に実施されていることを記録により確認した。
業務に即した手順への見直し	・不要となった手順書が削除されたこと、記録類作成に係る不適合が発生していないことを記録により確認した。
管理者責務に関する教育・研修の充実等、管理者の責務に係る自己評価	・管理者の自己評価や研修が適切に実施されていることを記録により確認した。
監査等の体制の改善	・管理者の同席が必要な社外監査や検査について、定期的に管理者同席が必要との周知メールを送信するとともに、管理者が同席していることを記録により確認した。
重要な報告等の業務品質の向上及び牽制の強化	・国等へ提出する重要な報告において、人的要因による不適合事案が発生していないことを記録により確認した。 ・実用性向上のため、チェックシートの様式について見直したことを記録により確認した。
意識面の改善	・地元行事や社会貢献活動への参加、役員との意見交換、原子力安全文化有識者会議の開催等、意識面の改善を図る取組の実施を記録により確認した。
内部監査	・内部監査が、提言や指摘が行われる等、適切に実施されていることを、監査結果報告書により確認した。

※ EAM (Enterprise Asset Management) : 統合型保全システム。設備に対する保全計画・実施・結果に係る情報を統合的に管理するシステム。

島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の状況等について（第42報）

平成30年6月15日
原子力安全対策課

平成25年12月25日に申請が行われた島根原子力発電所2号機並びに平成28年7月4日に申請が行われた同2号機に係る特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備（3系統目）に係る原子力規制委員会の新規制基準適合性審査会合の状況等は次のとおりです。

1 島根原子力発電所2号機に係る審査会合

*前回の報告（平成30年5月21日）以降の審査会合

回数（開催日）	議題	概要
93回目 （5月25日）	〔地震・津波〕 基準津波の 策定 （コメント回 答）	<p><中国電力の説明></p> <p>○基準津波に関する審査会合（3回目）。 基準津波の評価水位が最高値となるように、断層の中でも特に大きくずれ動く場所や断層の深さ、断層の位置などの設定の適切性や津波堆積物について検討した結果を説明した。</p> <p><原子力規制委員会のコメント></p> <p>○評価水位が最高となるケースの選定において、更にデータ拡充を行うようにとコメントがあった。 ※ 基準津波については引き続き審査。</p>
94回目 （6月1日）	〔地震・津波〕 基準地震動 の年超過確 率の参照に ついて （コメント回 答）	<p><中国電力の説明></p> <p>○2月16日の審査会合で妥当と評価された基準地震動における年超過確率に関する審査会合（2回目）。 断層の中で、地震により、特に大きくずれ動く部分を変えた場合について評価した結果、年超過確率に与える影響は小さく、前回と同じく$10^{-4} \sim 10^{-6}$（1万年～100万年に1回）程度であることを説明した。</p> <p><原子力規制委員会のコメント></p> <p>○基準地震動の年超過確率については、概ね妥当な検討がなされたと評価するとコメントがあった。</p>

2 特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備（3系統目）に係る審査会合

*前回の報告（平成28年9月15日）以降の審査会合

回数（開催日）	議題	概要
開催なし		*直近は平成28年9月13日の1回目

- （別紙） 1 島根原子力発電所2号機の適合性審査の進捗状況
2 島根原子力発電所2号機の適合性審査会合一覧

島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の進捗状況

<別紙1>

*斜字：審査済

区分	議題	回数	主な審査の状況等
申請概要等 (4回)		4	主要な論点 (24項目) を規制庁が提示。審査の進め方を確認。
地震対策 (34回)	震源を特定して策定する地震動	20	宍道断層の評価長さを約39kmとし、宍道断層と鳥取沖西部断層が連動せず、777ガルとすることです (審査済)。
	震源を特定せず策定する地震動	1	検討対象16地震の内、鳥取県西部地震と留萌支庁南部地震を対象とし、申請当初より大きな620ガルとすることです (審査済)。
	地下構造評価	4	解析モデルは3号機地盤の1次元モデルの採用です (審査済)。
	敷地の地質・地質構造	2	敷地内に破碎帯、活断層はないこと、敷地に分布するシームは少なくとも後期更新世以降活動していないことを説明 (審査済)。
	基準地震動	4	震源を特定して策定する基準地震動として S_{s-D} 、 S_{s-F1} 、 S_{s-F2} を、震源を特定せず策定する基準地震動として S_{s-N1} 、 S_{s-N2} とすることです (審査済)。
	耐震設計方針	3	耐震重要度分類の変更について説明。
	地盤・斜面の安定性	0	—
津波対策 (3回)	基準津波	3	鳥取県 (2012) が日本海東縁部に想定した地震による津波、日本海東縁部の地震の連動を考慮した地震による津波及び敷地前面海域の「F-III～F-V断層」から想定される地震による津波を基準津波として策定することを説明。
	耐津波設計方針	0	—
重大事故対策 (32回)	確率論的リスク評価 (PRA)	4	重大事故等対策を実施する前の仮想的なプラント状態において、炉心が損傷し重大事故に至る確率について説明。
	事故シーケンスの選定	3	新規制基準において対策が義務づけられたシビアアクシデント対策の有効性評価を行う事故シーケンスグループの選定について説明。
	有効性評価	12	選定された事故シーケンス毎に、新規制基準により義務づけられたシビアアクシデント対策が有効に機能するかどうかについて説明。
	解析コード	4	有効性評価で用いた解析プログラムについて説明。
	原子炉制御室	1	事故発生時にも原子炉制御室が有効に機能することを説明。
	水素対策	1	水素爆発防止対策 (電源を必要としない水素処理装置や水素濃度監視装置など) を説明。
	緊急時対策所	1	重大事故等対処要員が滞在し、プラント情報を把握するための設備や発電所内外との通信設備等及びそれらの運用を説明。
	フィルタ付ベント設備	6	申請時から新たにヨウ素フィルタ (銀ゼオライト)、弁を追加。全体設計、フィルタ性能、運用方法等について説明。
設計基準事故対策 (22回)	竜巻	3	設計竜巻による最大風速を引き上げ (69m/s→92m/s)。
	火災	4	発電所建物の内部・外部で起こりうる火災について説明。
	内部溢水	4	地震による配管破断や津波による浸水、消火活動における放水等により、原子炉施設内部で漏水事象が発生した場合においても、安全上重要な設備の機能が損なわれないことについて説明。
	火山	2	火山灰の堆積厚さについて、三瓶山と大山の火山活動等の不確かさを考慮し、当初申請の2cmから30cmに見直すことを説明。
	外部事象	1	設計上考慮すべき外部事象の選定について説明。
	保安電源設備	0	—
	静的機器の単一故障等	8	静的機器の単一故障設計、誤操作防止対策、圧力バウンダリ、通信連絡設備、監視測定設備、共用設備について説明。
計		94	{年度別} H25:4回、H26:36回、H27:32回、H28:11回、H29:7回、H30:4回

*77回目は、「耐震設計方針」、「有効性評価」の回数にそれぞれ計上しており、計は一致しない。

島根原子力発電所2号機の適合性審査会合一覧

1 新規制基準適合性審査

回数	開催 年月日	議 題		常任委員会報告日 (通算回数)
		地震・津波関係	プラント関係	
1回目	H26.1.16	申請の概要		H26.2.21(1)
2回目	H26.1.28	申請内容に係る主要な論点		
3回目	H26.2.20	敷地周辺陸域の活断層評価		H26.3.18(2)
4回目	H26.3.19	敷地周辺海域の活断層評価		H26.4.21(3)
5回目	H26.4.9	敷地周辺活断層評価(コメント回答)		
6回目	H26.4.16	地下構造評価		H26.5.21(4)
7回目	H26.5.1	敷地周辺陸域・海域の活断層評価(コメント回答)		H26.6.12(5)
8回目	H26.6.27	震源を特定せず策定する地震動		H26.7.2(6)
9回目	H26.7.22		確率論的リスク評価(内部事象PRA)	H26.8.21(7)
10回目	H26.8.5		静的機器の単一故障に係る設計	
11回目	H26.8.28		フィルタベント系(設計、仕様)	H26.9.18(8)
12回目	H26.9.5	地下構造評価(コメント回答)		
13回目	H26.9.11		フィルタベント系(運用、コメント回答)	H26.10.9(9)
14回目	H26.9.30		確率論的リスク評価(地震・津波PRA)	
15回目	H26.10.2		事故シーケンスの選定	H26.11.27(10)
16回目	H26.10.14		有効性評価	
17回目	H26.10.16		外部火災(森林火災)	H26.12.17(11)
18回目	H26.10.23		内部溢水	
19回目	H26.10.30		外部火災(産業施設、航空機墜落)	H27.1.21(12)
20回目	H26.11.6		有効性評価(保管場所、アクセスルート)	
21回目	H26.11.13		有効性評価	H27.2.13(13)
22回目	H26.11.20		地下構造評価(コメント回答)	
23回目	H26.11.21		内部火災	H27.3.10(14)
24回目	H26.12.4		有効性評価	
25回目	H26.12.9		<現地調査>	H27.5.20(15)
26回目	H27.1.15		有効性評価	
27回目	H27.1.16	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H27.6.8(16)
28回目	H27.1.27		有効性評価	
29回目	H27.2.3		竜巻影響評価	H27.6.24(17)
30回目	H27.2.5-6	<現地調査>		
31回目	H27.2.10		緊急時対策所	H27.7.21(18)
32回目	H27.2.19		誤操作の防止・安全避難通路等・安全保護回路	
33回目	H27.2.24		圧力バウンダリ	H27.8.21(19)
34回目	H27.2.26		フィルタベント系(主ライン、弁構成)	
35回目	H27.3.3		有効性評価(原子炉格納容器限界温度・圧力)	H27.8.21(19)
36回目	H27.3.5		静的機器の単一故障(コメント回答)	
37回目	H27.3.6	地下構造評価(コメント回答)		H27.8.21(19)
38回目	H27.3.17		有効性評価(燃料プール、運転停止中)	
39回目	H27.3.19		外部火災(コメント回答)	H27.8.21(19)
40回目	H27.3.24		通信連絡設備	
41回目	H27.3.31		竜巻影響評価(コメント回答)	H27.8.21(19)
42回目	H27.4.2		監視測定設備	
43回目	H27.4.7		フィルタベント系(運用方法等)	H27.8.21(19)
44回目	H27.4.9		竜巻影響評価(フジモデルの適用)	
45回目	H27.4.21		共用に関する設計上の考慮	H27.8.21(19)
46回目	H27.4.24	敷地の地質・地質構造		
47回目	H27.5.12		解析コード	H27.8.21(19)
48回目	H27.5.15	敷地周辺海域の活断層評価(コメント回答)		
49回目	H27.5.21		内部溢水(コメント回答)	H27.8.21(19)
50回目	H27.5.28		フィルタベント系(コメント回答)	
51回目	H27.6.2		誤操作の防止・安全避難通路等・安全保護回路(コメント回答)	H27.8.21(19)
52回目	H27.6.9		解析コード	
53回目	H27.6.11		原子炉制御室	H27.8.21(19)
54回目	H27.6.12		火山影響評価	
55回目	H27.6.19	敷地周辺陸域の活断層評価(重力異常に係わるコメント回答)		H27.8.21(19)
56回目	H27.6.23		解析コード	
57回目	H27.6.30		確率論的リスク評価(コメント回答)	H27.8.21(19)
58回目	H27.7.2		外部事象の考慮	
59回目	H27.7.9		確率論的リスク評価(コメント回答)	H27.8.21(19)
60回目	H27.7.14		フィルタベント系(コメント回答)	
61回目	H27.7.16		内部火災(コメント回答)	H27.8.21(19)
62回目	H27.7.21		敷地周辺陸域・海域の活断層評価(コメント回答)	
63回目	H27.7.28		原子炉建屋内水素対策	H27.8.21(19)
64回目	H27.8.4		内部火災(コメント回答)、今後のBWRプラントの審査の進め方	
65回目	H27.8.6			

回数	開催年月日	議 題		常任委員会報告日 (通算回数)
		地震・津波関係	プラント関係	
66回目	H27.9.9	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H27.9.14(20)
67回目	H27.10.15		解析コード(コメント回答)	
-	H27.10.29-30	<現地調査>		H27.12.1(21)
68回目	H27.11.20	敷地周辺海域の活断層評価(国土交通省断層)		
69回目	H27.12.16	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答、西端の評価)		H27.12.16(22)
70回目	H28.1.15	敷地の地質・地質構造(コメント回答)		H28.1.21(23)
71回目	H28.1.29	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H28.2.24(24)
72回目	H28.3.31		今後のBWRプラントの審査の進め方	H28.4.21(25)
73回目	H28.4.21		BWR審査における論点及び今後の審査の進め方	
74回目	H28.4.28		火山影響評価(コメント回答)	
75回目	H28.5.13	震源を特定して策定する地震動		H28.5.31(26)
76回目	H28.5.26	耐震重要度分類		
77回目	H28.7.12	耐震重要度分類	有効性評価(コメント回答)	H28.7.19(27)
78回目	H28.8.25		有効性評価(コメント回答)	H28.9.15(28)
79回目	H28.9.15		有効性評価(コメント回答)	H28.10.7(29)
80回目	H28.11.11	震源を特定して策定する地震動(コメント回答)		
81回目	H28.11.16	耐震設計の論点		H28.11.28(30)
82回目	H28.12.16	基準津波の策定		
83回目	H29.2.17	震源を特定して策定する地震動(コメント回答)		H29.1.19(31)
84回目	H29.6.9	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H29.2.24(32)
-	H29.7.13	<自治体職員向け説明会>		H29.6.28(33)
85回目	H29.7.28	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H29.7.21(34)
86回目	H29.9.29	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H29.8.21(35)
87回目	H29.10.27	震源を特定して策定する地震動(コメント回答)		H29.10.6(36)
88回目	H29.12.1	震源を特定して策定する地震動(コメント回答)		H29.12.1(37)
89回目	H30.2.2	基準地震動(コメント回答)		H29.12.19(38)
90回目	H30.2.16	基準地震動(コメント回答)		H30.2.23(39)
91回目	H30.4.6	基準津波の策定(コメント回答)		H30.4.20(40)
92回目	H30.4.27	基準地震動の年超過確率の参照について		H30.5.21(41)
93回目	H30.5.25	基準津波の策定(コメント回答)		
94回目	H30.6.1	基準地震動の年超過確率の参照について(コメント回答)		H30.6.15(42)

2 特定重大事故等対応施設及び所内常設直流電源設備(3系統目)に係る審査会合

回数	開催年月日	議 題	常任委員会報告日 (通算回数)
1回目	H28.9.13	申請の概要	H28.9.15(28)

: 今回の報告対象

第64回鳥取県消防ポンプ操法大会の開催について

平成30年6月15日

消 防 防 災 課

消防団員が火災から地域住民の生命・身体・財産を守るために必要な技術の向上及び士気の高揚を図り、もって消防団の消防活動の充実に寄与することを目的として、次のとおり「第64回鳥取県消防ポンプ操法大会」を開催します。

また、併せて住民に対する防火・防災意識の高揚、消防団への理解を深めることを目的として、会場内で起震車による地震の体験や消防車等の展示を行います。

- 1 主 催 鳥取県、公益財団法人鳥取県消防協会
- 2 開催日時 平成30年7月1日（日）午前10時から午後3時30分まで
- 3 開催場所 倉吉市防災センター（倉吉市福守町415-2）
※荒天の場合は、平成30年7月8日（日）に、鳥取県消防学校屋外訓練場（米子市流通町1350）で開催

4 競技参加団体

(1) ポンプ車操法の部（5人で1チーム）

鳥取市	2チーム	岩美郡・八頭郡	2チーム
米子市	2チーム	東伯郡	2チーム
倉吉市	1チーム	西伯郡・日野郡	2チーム
境港市	1チーム		

※出場する分団は各地区の予選を経て決定

(2) 小型ポンプ操法の部（4人で1チーム）

鳥取市	2チーム	岩美郡・八頭郡	1チーム
米子市	2チーム	東伯郡	1チーム
倉吉市	2チーム	西伯郡・日野郡	2チーム

※出場する分団は各地区の予選を経て決定

(3) 軽可搬ポンプ操法披露の部

鳥取市消防団女性分団

- 5 競技内容 消防ポンプによる放水活動の機敏さ、正確さを競う。

6 表彰

ポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部…各部門3位まで

（ポンプ車操法の部優勝チームは、全国大会に出場）

軽可搬ポンプ操法を披露する女性消防隊

優秀選手…それぞれの役割（指揮者及び各操作員）で最も優秀な者1名（合計9名）

※大会結果は、大会当日の夕方、鳥取県のホームページで情報提供を行います。

7 第26回全国消防操法大会

(1) 開催日時

平成30年10月19日（金）

(2) 開催場所

富山県広域消防防災センター（富山県富山市惣在寺1090番地1）